

同時資料提供

大阪科学・大学記者クラブ
大阪教育記者クラブ
南大阪記者クラブ
関西レジャー記者クラブ

平成 29 年 2 月 21 日
大阪市立自然史博物館
TEL : 06-6697-6222

大阪市立自然史博物館 特別展 「石は地球のワンダー ～鉱物と化石に魅せられた2人のコレクション～」 を開催します

大阪市立自然史博物館では大阪市立科学館と共催で、平成 29 年 4 月 22 日(土)から 6 月 4 日(日)まで、特別展「石は地球のワンダー ～鉱物と化石に魅せられた2人のコレクション～」を開催します。



美しい鉱物と珍しい化石、貴重なコレクションを大公開

地球の営みによってつくられた、きれいな結晶を持つ鉱物、長い地球の歴史の中で生物の進化を教えてくれる化石。その美しさや不思議さはコレクターを虜にし、私たちにも地球のワンダーを教えてください。

この特別展では、地球が生み出した不思議な石に魅了された二人のコレクターによる鉱物コレクションと化石コレクションを中心に石の魅力を紹介します。

北川隆司鉱物コレクションは、鉱物学を研究した故北川隆司教授（広島大学）が生涯をかけて世界中から収集した、2,000 点を超える鉱物コレクションのうち、選りすぐりの約 160 点を展示し、鉱物の美しさや不思議さに触れていただきます。北川隆司鉱物コレクションは全国を巡回してきましたが、まもなく終了の予定で、関西では最後の機会となります。

金澤芳廣化石コレクションは、香川県丸亀市に在住の金澤芳廣氏から当館に平成 28 年 8 月に寄贈された化石コレクションです。大型のアンモナイトや巨大な材化石、海棲脊椎動物化石などで、コレクションの中には、当館学芸員を中心とした研究で明らかとなった、香川県で初めてとなる恐竜化石も含まれています。

あわせて、日本地質学会により選定された「47 都道府県の石（岩石・鉱物・化石）」を同時開催します。日本列島を形作る、複雑で多様な地質を実感していただけることでしょう。

○プレス内覧会を、開幕前日の平成29年4月21日(金)午後0時30分より、自然史博物館 本館 集会室および特別展会場で行います。プレス内覧会取材申込書にて前日までにファックスでお申込みください。なお、一般内覧会も午後2時より引き続き行います。

○広報用写真、読者・視聴者プレゼント用の招待券をご用意しています。広報画像申込書、招待券申込書もファックスでお申込みください。

I. 開催概要

1. 名 称 特別展「石は地球のワンダー ～鉱物と化石に魅せられた2人のコレクション～」
2. 主 催 大阪市立自然史博物館、大阪市立科学館
3. 会 期 平成29年4月22日（土）～6月4日（日）
※開館時間：9：30～17：00（入館は16：30まで）
4. 休館日 月曜日（ただし、月曜日が休日の場合はその翌日）※5月1日(月)は開館
5. 会 場 大阪市立自然史博物館 ネイチャーホール(花と緑と自然の情報センター2階)
〒546-0034 大阪市東住吉区长居公園 1-23
TEL：06-6697-6221 FAX：06-6697-6225
HP：http://www.mus-nh.city.osaka.jp/
地下鉄御堂筋線「長居」駅下車3号出口・東へ800m
JR 阪和線「長居」駅下車東出口・東へ1000m
6. 観覧料 大人 300円、高校生・大学生 200円
期間内特別展フリーパス 大人 500円、高校生・大学生 400円
※本館（常設展）とのセット券は、大人 500円、高校生・大学生 300円。
※中学生以下、障がい者手帳など持参者（介護者1名を含む）、大阪市内在住の
65歳以上の方は無料（要証明）。30人以上の団体割引あり。
※本館（常設展）、長居植物園への入場は別途料金が必要です（セット券を除く）。
7. 後 援 日本鉱物科学会、日本粘土学会、日本結晶学会、日本地質学会、日本古生物学会、
全国科学博物館協議会、独立行政法人産業技術総合研究所地質調査総合センター
などを予定
8. 協 力 国立科学博物館、千葉県立中央博物館 などを予定

※北川隆司鉱物コレクションのうち、約40点は大阪市立科学館で平成29年3月14日（火）～平成29年6月4日（日）に開催される企画展「石は地球のワンダー ～鉱物と化石に魅せられた2人のコレクション～」において展示されます。「石は地球のワンダー」展について、資料を2会場に分割して展示することから、両会場とも見学する方のため、観覧料金の相互割引を実施します。詳細は自然史博物館ホームページ等にてご案内します。

II. 展示構成および主な展示 (掲載の画像は広報目的でのみご利用いただけます)

○鉱物って何？

北川隆司鉱物コレクションを紹介する予備知識として、鉱物について簡単な解説コーナーを設けます。

○北川隆司鉱物コレクション

鉱物学を研究した故北川隆司教授(広島大学)が生涯をかけて世界中から収集した、2,000点を超える鉱物標本です。コレクションには、研究対象であった広島地方の粘土鉱物や蠟石とともに、世界中から集めたきれいな鉱物も多数含まれています。その中から選りすぐりの約160点を展示し、鉱物の美しさや不思議さに触れてほしいと思います。

1. 方解石



メキシコ産出。カルシウムと炭酸塩(CO₃)が結びついた鉱物。「つぶれたマッチ箱」のような結晶で、平行四辺形が結晶の面をつくるが、その他にもいろいろな結晶の形になる。この標本では正六角形の板を積み重ねたようだが、ピア樽型や陣笠上の結晶になったりもする。

2. 鉄礬^{てつばん}ザクロ石



インド産出。カルシウム、マグネシウム、鉄、アルミニウムなどが珪酸塩と結びついた鉱物で、含まれる成分によって20あまりの種類が含まれている。これは鉄とアルミニウム(礬)を主成分とするザクロ石で、きれいな濃い赤色で透明感がある結晶は宝石に加工される。1月の誕生石ガーネットがザクロ石。

3. 螢石^{ほたるいし}(紫) / 重晶石^{じゅうしょうせき}(白色)



アメリカ合衆国テネシー州産出。螢石はカルシウムのフッ素化合物で、フッ素の原料として採掘される。純粋で完璧な結晶は無色透明だが、微量な成分が混ざったり、結晶に不完全な部分があると様々な色の結晶になる。紫色や濃い緑色の結晶は、紫外線を当てると鮮やかな蛍光を放つことがある。

4. 魚眼石

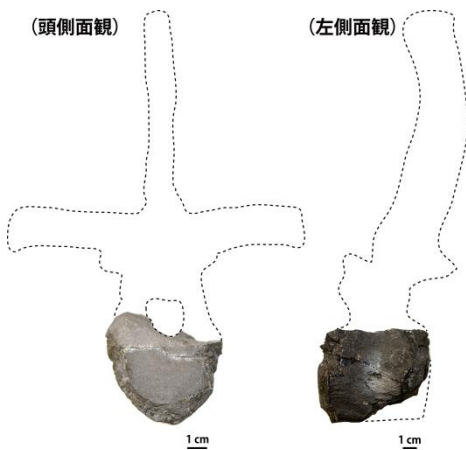


インド産出。カリウムとカルシウムのケイ酸塩で、結晶形は四角柱や板状で、端部が鋭い錐状のこともある。透明な結晶は光沢が良く、劈開面は濁りも現れ、魚の眼を思い起こすため和名の元となる。

○金澤芳廣化石コレクション

香川県丸亀市に在住の金澤芳廣氏から当館に平成 28 年 8 月に寄贈された化石コレクションです。主に香川県さぬき市に分布する中生代白亜紀後期カンパニアン期（約 8300～7200 万年前）の地層（和泉層群）から発見した、大量の化石のコレクションで、大型のアンモナイトや巨大な材化石、海棲脊椎動物化石など、研究資料としても第一級のコレクションで、一部の標本については学術研究が進められています。コレクションの中には、当館学芸員を中心とした研究で明らかとなった、香川県で初めてとなる恐竜化石も含まれています。

5. 恐竜化石（ハドロサウルスの仲間の可能性が高い脊椎）



香川県さぬき市に分布する中生代白亜紀後期カンパニアン期（約 8300～7200 万年前）の地層（和泉層群）から 1986 年に発見されていたにも関わらず、断片的な化石であったため、恐竜化石と同定するのが困難な標本だった。しかし、大阪市立自然史博物館に寄贈され、大阪市立自然史博物館・北海道大学総合博物館・国立科学博物館の共同研究が行われたことによって、この標本が恐竜化石であり、形態を詳しく比較検討することで、ハドロサウルス類の胴体部分の脊椎骨である可能性が高いことが日本古生物学会（平成 29 年 1 月に早稲田大学で開催）で発表された。

6. 海棲脊椎動物化石（メソダームケリス *Mesodermochelys* sp.）



香川県さぬき市産出のウミガメ化石、メソダームケリス (*Mesodermochelys*) の上腕骨（写真上）。現在生きている最大級のウミガメであるオサガメの上腕骨（写真下）と比較すると本標本が非常に巨大なウミガメの腕の化石であることがわかる。本標本は全長が 3 メートル近くあったと考えられている。

7. アンモナイト（パキディスカス *Pachydiscus* sp.）



香川県さぬき市産出。これほど大型のアンモナイトは、国内では北海道以外ではめずらしい。

8. アンモナイト (ディディモセラス *Didymoceras* sp.)



香川県さぬき市産出。いわゆる異常巻き型アンモナイトでは大型の標本になる。

9. 大型の材化石



香川県さぬき市産出。樹木が地層に埋もれ、珪酸 (SiO_2) が材に染みこみ、組織を置換し、まさに石になった木の化石。長さ約 85 cm、直径約 55 cm ある。和泉層群からこれほど大きな珪化石が発見されるのは珍しい。

○47 都道府県の石

独立行政法人産業技術総合研究所の協力により、一般社団法人 日本地質学会が平成 28 年 5 月に選定した「県の石」を紹介します。岩石については 47 都道府県のすべてを、鉱物についても 40 都道府県以上の標本を一同に展示します。化石については当館収蔵標本も含めてできるだけ紹介します。西日本でははじめての機会となります。

これまでに都道府県の鳥や花、樹木はありましたが、「県の石」が選定されている例はなかったため、今回はじめて選定されたものです。都道府県ごとに、地域の地質を反映した「岩石」、「鉱物」、「化石」が「県の石」として選定されました。選定は日本地質学会「県の石選定委員会」を中心に進められて、今回の特別展を企画した当館学芸課長の川端が選定委員会の委員長として参画しました。

日本は国土の面積こそ小さいものの、多発する地震や火山噴火に見られるように変動帯に位置していて、とても複雑な地質からできています。各地域の「県の石」を通して、大地の性質や成り立ちに興味関心を持っていただきたいと思います。

10. ドーソン石 (大阪府の鉱物)



ナトリウムとアルミニウムを主成分とする炭酸塩 鉱物 $\text{NaAl}(\text{CO}_3)(\text{OH})_2$ で、針状結晶が放射状に集合し、白色で絹糸光沢のため、石の表面に白い花が咲いたように見えることがある。国内での産出はまれだが、白亜紀末の化石産地として有名な大阪府南部の和泉層群分布域からはふつうに産出する。きれいな結晶をしたドーソン石の産地は国内ではほぼこの地域に限られるために、「大阪府の鉱物」としてふさわしいと選定された。

Ⅲ. ブロガーの皆様ご招待について

特別展の広報に協力して頂けるブロガーの方 20 名を、開幕前日の一般内覧会、または開幕 2 日間のいずれかに無料でご招待いたします。

○期間

<一般内覧会>

平成 29 年 4 月 21 日（金） 午後 2 時から午後 4 時 30 分まで（午後 1 時 30 分より受付開始）

<開幕 2 日間>

平成 29 年 4 月 22 日（土）または 23 日（日） 午前 9 時 30 分から午後 5 時まで（入場は随時、最終入館は午後 4 時 30 分まで）

○会場

大阪市立自然史博物館 ネイチャーホール（花と緑と自然の情報センター 2 階）

○参加頂ける方

以下の 2 つの条件を両方とも満たす方

- ①ご自身でブログを開設されていること
- ②ご自身のブログに特別展の紹介記事を必ずお書きいただけること

○申込

電子メールに「特別展ブロガー招待申込み」と明記、名前、居住地の都道府県名、電子メールアドレス、ブログタイトル、ブログ URL を書いて、平成 29 年 4 月 13 日（木）までに届くように自然史博物館 総務課宛に申し込んでください。平成 29 年 4 月 14 日（金）に抽選を行い、結果を申込者全員にメールにて返信させていただきます。当選者のみ参加方法等の詳細を合わせてお知らせいたします。

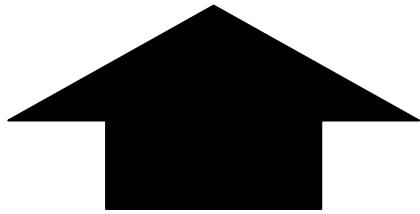
○その他

当日参加はできません。必ず申込みをしてください。

○問合せ／申込先

大阪市立自然史博物館 総務課

電話：06-6697-6221 メール：s-nyukansha@ocmo.jp



F A X . 0 6 - 6 6 9 7 - 6 2 2 5

<FAX送信>

送信先：大阪市立自然史博物館
総務課 広報 宛
TEL.06-6697-6222 FAX.06-6697-6225
〒546-0034 大阪市東住吉区长居公園 1-23

特別展「石は地球のワンダー ～鉱物と化石に魅せられた2人のコレクション～」 プレス内覧会 取材申込書

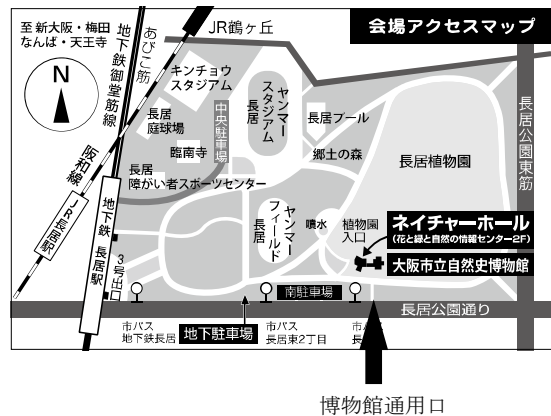
プレス内覧会における取材をご希望される方は、下記該当箇所をご記入の上、総務課広報宛にFAXにてご返信ください。

■ プレス内覧会

〔日時〕 平成29年4月21日（金）
午後0時30分～

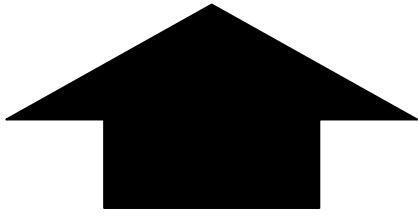
〔会場〕 大阪市立自然史博物館
本館 集会室および特別展会場

- ※博物館通用口からお越しくください。
- ※プレス内覧会に引き続き、午後2時より一般内覧会も開催いたします。



博物館通用口

貴社名	
媒体名	
所属部署／ご担当者名	
人数（カメラ含む）	
ご住所	〒
ご連絡先	電話： メール： FAX：



F A X . 0 6 - 6 6 9 7 - 6 2 2 5

<FAX送信>

送信先：大阪市立自然史博物館
総務課 広報 宛
TEL.06-6697-6222 FAX.06-6697-6225
〒546-0034 大阪市東住吉区长居公園 1-23

特別展「石は地球のワンダー ～鉱物と化石に魅せられた2人のコレクション～」 広 報 用 画 像 申 込 書

- ・ご希望の画像に○印をつけ、下記にご記入のうえ、ご返信ください。
- ・画像使用は本展のご紹介のみとさせていただきます。使用後は、データを破棄してください。(平成 29 年 6 月 4 日(日)まで使用可)
- ・掲載記事・番組内容については、基本情報確認のため、ゲラ刷り・原稿の段階で総務課広報宛まで FAX またはメールをお送りください。また、掲載媒体を1部、総務課宛にお送り下さい。

No.	画像名	No.	画像名
1	方解石	2	<small>てつばん</small> 鉄礬ザクロ石
3	蛍石（紫）／重晶石（白色）	4	魚眼石
5	恐竜化石 (ハドロサウルスの仲間の可能性が高い脊椎)	6	海棲脊椎動物化石（メソダームケリス）
7	アンモナイト（パキディスカス）	8	アンモナイト（ディディモセラス）
9	大型の材化石	10	ドーソン石（大阪府の鉱物）

貴社名・媒体名	
掲載・放送予定日	
所属部署／ご担当者名	
ご住所	〒
連絡先	電話： メール： FAX：